

発行 わがまち大田
 六郷地区推進委員会
 編集 「六郷わがまち」編集委員会
 事務局 大田区六郷特別出張所
 〒144-0055
 大田区仲六郷 2 - 42 - 2
 電話 03 (3732) 4885 (代)

六郷特別出張所管内	
人 口	男 31,648 名
	女 29,844 名
	計 61,492 名
世帯数	27,542 世帯
平成 12 年 1 月 1 日現在	

六郷わがまち

20世紀最後の年にあたって(下)

町会長・自治会長15人が語る

昨年末の第22号につづき、本号では仲六郷・西六郷の町会長7人に、ミレニアム(千年紀)の現状を踏まえ、これからどのような「まち」づくりをめざしていくのか、ご意見の一端を寄せていただきました。

急激な変化の中で 新旧会員の融和を 仲六郷一丁目町会 会長 大塚 俊隆



JR線と京急線との間に形成された当町会は、近隣町会と同様に工場移転による集合住宅の建設が進み、急激な変貌を上げている。それに伴う世帯数の増加とともに他地区からの転入者

も多い。したがって新旧溶け込んでの意見交換により、全員参加の「まち」づくりが、これからの課題となっている。

◆心づよい若手役員の参加
現在の町会役員は全部で26名、このうち30代5名、40代4名と3分の1以上を若手役員が占めており、まことに心強い構成で、いっそうの活躍が期待される。これとは別に町会が可能な限りの援助をしているものに、婦人救護班と青年会がある。

町会の行事は年度計画にもとづいて行われており、すべての

行事に積極的に参加している婦人救護班と青年会の評価はきわめて高い。とくに青年会の有志は地域文化の継承にも熱心で、六郷神社崇敬会が行っている六郷ばやし復活運動の中心的役割を果たしている。

新世紀がせまっている。ますます高齢化社会に向けて地域もより密度の濃い対応が迫られてくる。対策のひとつとして、少子化のため予想される学校の空教室の利用を考え、高齢者の生涯教育と健康維持の課題に取り組んでいきたい。

新しい会館を町会 運営の拠点として 仲六郷二丁目町会 会長 松本 隆治



このところ京浜急行線の連続立体交差化に伴う雑色駅周辺の再開発計画が取り沙汰されているが、当町会にはぎやかな地元商店街とともに発展してきた生活しやすい明朗な町会である。

年間行事としては、交通・防災・防犯などの諸活動はもちろんのこと、敬老の日の祝いの金の贈呈、仲六小学校の夏期行事、少年野球などにも力を入れており、六郷神社の祭礼には、とくに商店街をはじめ、青年部・婦人部の活躍を中心として、毎年非常な盛り上がりを見せている。

◆念願の仲二会館が完成!
昨年12月、長年の念願であった町会会館が、会員の心からなる賛同と協力により、多大な寄付金をもって竣工をみた。まさに喜ばしい限りである。

場所は仲六郷二丁目38-5、敷地22・5坪(所有権)、建物は鉄骨3階建て43坪で、1階は厨房と駐輪場、2階は広間、3階は会議室となっている。

今後はこの新しい会館を町会活動の拠点として、災害時の対処はもとより会員相互の親睦、サークル活動、福祉活動、青少年の健全育成などを推進するとともに、会員が幅広くかつ気軽に利用できるような運営を行っていききたい。最後になったが、雑色駅周辺の再開発が地元の発展に役立つことを祈っている。

21世紀に予測される 大きな環境変化 仲六郷三丁目町会 会長 平野 順治



わが町会は、JRの複々線と京浜急行の線路にはさまれた細長い町会で、ほぼ中央の三間道路を京急バスが走り、六郷土手や雑色の駅にも近く、交通の便

にめぐまれている。

住工混在の準工業地域であるが、最近では工場の数が減少し、さほど広くない町内で大きなスペースを占めているのは、六郷中学校、六郷変電所とその家族寮、東京計器工業、東急ストアとその蒲田寮、それに都住宅供給公社仲六郷住宅などで、一般住宅の範囲はおのずから限定されているが、高齢者でも歩いて生活必需品の買い物ができる地の利を得ている。それに古い住宅が次々と建て替えられ、明る

い町並みになってきた。

町会の行事は、平成5年8月にできた町会会館とそれに近接した仲三公園を中心に、スムーズに行われている。毎年、お祭りの日には仲一・仲二・仲三の大人・子供神輿の連合渡御が行われ、人気を博している。

◆予想される四大環境変化
21世紀に予想される大きな変化としては、次の4点を指摘することができよう。

①京浜急行線の高架化が実現し、交通渋滞が緩和されるであ

ろう。だが、そのために当町会の線路西側ぞいの土地が6m幅で買収されるという、犠牲を忘れてはなるまい。

②現在工事中の雑色ポンプ所に接続する太い下水道管が、西



地域社会の核として 必要な組織体に 仲六郷四丁目町会

会長 須山 俊明

21世紀は情報通信機器などの一層の発達により、それにつれて人びとの生活も大きく様変わ

転換期だからこそ 和の精神を大切に 西六郷一丁目町会

会長 小原 水雄



わが町会は、大田区の中でも1位2位を競うほど人口が多い。そのため志茂田小学校のごとき

一步一步地道な努 力で懸案の解決を 西六郷二丁目町会

会長 小林 哲夫



当町会は、昭和26年締結の講和条約が発効した翌27年4月に設立され、今年で48年になる。

多摩川の河川敷に 隣接してはいるが 西六郷高畑町会

会長 加藤 勇之助



六郷三丁目の分水人孔から高畑保育園前の道路下に埋設され、これによって1時間50mmの降雨時でも浸水しないようになる。

OX)の構築により、近い将来「電柱のない町並み」となる可能性も少なくない。

層化に伴う入居者の変化と増加が予測される。今後は、こうした環境変化に対応して、さらに安心して暮らせる「まち」づくりに努力しなければならぬであろう。

りしていくことが予想される。しかし、その中にもあっても、町会は地域社会の核として、また最小の組織体として必要なものであろうと考えられる。拘束されないボランティア活動として、その発展を期していきたい。加えて当町会は結成48年を迎え、いよいよその感を深くする。

◆町会との共催で除夜の鐘
東陽院(6-2)の除夜の鐘は、町会の最終行事である。本堂で住職の読経があり、午前零時を期して鐘が撞き始められる。

終わった人には、会員有志が寄進したお供物が配られる。お寺でも甘酒などの接待を行い、厳粛な中にも新年を迎える喜びがあふれ、本年は500人余りの人が参加し、盛況であった。東陽院はかつて7月10日のお施餓鬼の日にトウモロコシ市がたち、本尊が如意輪観音なのでトウモロコシ観音といわれて賑わったと聞く。除夜の鐘もそれにあやかり続けたい行事である。

は、学区域がわが町会だけという状態である。ほかに志茂田中学校・自動車教習所・調理師学校などがある。

リサイクルと環境浄化のため、これからも続けていきたい、と思っている。

前にも述べたが、当町会の子供たちはほとんどが志茂田小学校に通っており、PTAの父兄もみな町会員である。そのため小学校に対する協力は濃密である。お互いにコミュニケーションを図り、それぞれの行事のなかで、町会すべての人が親睦を深め、なによりも「和」の精神を大切にし、それを育てていってもらいたいものだ、と切に願っている。

◆多摩川の清掃と廃品回収
町会がとくに力を入れている行事としては、毎月第二日曜日に実施している多摩川の土手の清掃と廃品回収がある。過去多いときには、新聞紙などで8トン、つぶしたアルミかん入りの袋が60個にもなったことがあり、

◆21世紀に解決したい懸案
当町会では、必要とされながらもいまだ解決をみない次のような問題をかかえている。

◆市民消火隊・女性ミニポンプ隊は、毎月訓練に励んでいるが、矢口消防署の管轄下にあるため、昨年は期日の調整がうまくつかず、蒲田消防署管轄下の南・東・仲の市民消火隊と合同して、秋の訓練成果発表会に参加できなかった。残念である。

主な年間行事としては、2月の正善坊稲荷の例祭、町会親睦旅行、6月の六郷神社祭には、西一町会と町内神輿の相互渡御を行い、友好を深めている。8月には地元商店会との合同盆踊り大会を開き、人と人との輪を大きく広げている。9月の白山神社例祭には隣接の西一・仲一・仲二の各町会からも役員の参列があり、10月には西六郷小学校の校庭において地域ぐるみの総

①当町会には心の休まる公園がひとつもない。そのため区との折衝を重ねて、その実現に努力している。

21世紀に向けて、これらの課題を解決するよう、一步一步地道なあゆみが続けていきたい。

わが町会は、区民広場、サッカー場、16面の野球場がある広大な多摩川の河川敷に隣接し、よく晴れた日には土手から富士山が遠望できるという、素晴らしい景観にめぐまれている。

◆大企業移転跡地への関心
現在の会員数は1950世帯(このうち半数が団地・マンション)であるが、バブル崩壊後の大企業の移転跡地がどうなるかが、目下のところ大きな関心事となっている。その跡地の利用状況によっては、会員数の増減に響くからである。

意識の高揚をはかり、青少対活動への協力にも力を入れている。また納涼大会による地域住民の親睦、「ふれあい文化まつり」の交流、さらに敬老の日を中心とした高齢者対策に意を注いでいる。昭和35年建設の会館は広く利用されているが、さらに設備の充実を図りたいと思う。